

## ■iDiメッセージ

鴨井久一 iDi 歯科医療情報推進機構 理事長  
福田謙一 東京歯科大学口腔健康科学講座 教授

## ■iDiセミナーレポート

### 医科歯科連携の重要性

～周術期等口腔機能管理を知る～

### 誤嚥性肺炎を予防するための実践講習会

～あなたは誤嚥性肺炎の予防に自信がありますか？～

## ■iDi認定歯科医師インタビュー

越前谷澄典 医療法人社団 スマイルオフィスデンタルクリニック(札幌市)  
宇田川宏孝 医療法人社団 スマイルプラス 宇田川歯科医院(東京都)

# SMILE ONE

## ミストガン



超微粒ミストで  
ふきとり不要



液の使用量  
1/4



24時間抗菌



99.99%  
除菌



簡単操作



広範囲でも  
楽々除菌

## 除菌・抗菌の「新方式」 ふき取りいらずの Ag<sup>+</sup>プロテクト

超微粒ミストなのでムラなく除菌&  
抗菌できます。  
人々が集まる様々なシーンに、感染  
症対策としてご活用頂けます。

SMILE ONE ミストガン



販売元:株式会社ピカッシュ  
熊本県菊池郡菊陽町原水2849-1

詳しくは  
WEBサイトを  
チェック



※必ず専用液をご使用ください。

## iDi 講師メッセージ



## 福田 謙一

Kenichi Fukuda

歯学博士、日本口腔顔面痛学会指導医、日本歯科麻酔学会専門医、日本障害者歯科学会認定医  
東京歯科大学 口腔健康科学講座 障害者歯科・口腔顔面痛研究室  
同大学水道橋病院スペシャルニーズ歯科・ペインクリニック科

1990年 東京歯科大学歯科麻酔学講座入局  
1994年 東京大学医学部麻酔科医員  
1997年 アメリカ合衆国UCLA Harbor Medical Center 麻酔科客員研究員(海外留学~1998年)  
2004年 東京歯科大学水道橋病院歯科麻酔科/口腔顔面痛みセンター科長  
2006年 東京歯科大学口腔健康臨床科学講座歯科麻酔学分野准教授  
2015年 東京歯科大学口腔健康科学講座/障害者歯科・口腔顔面痛研究室教授  
(同大学水道橋病院スペシャルニーズ歯科・ペインクリニック科長)  
著書:「フローチャートでわかる歯科医院における50の痛み」医歯薬出版

## ～「国民皆歯科健診」とこれからの歯科需要～

先日、政府方針として「国民皆歯科健診」の導入が検討されていることが、報道されました。歯科健診は、現在のところ1歳半、3歳、小学生から高校生までの学生が、受診義務の対象ですが、今後は全世代を対象に歯の健康を守っていこうという方針です。

さて、30年から35年前、日本は後にバブル経済と呼ばれる好景気に湧いており、GDP(国内総生産)は、米国に続く2位で世界のGDPの1割以上を占めていました。当時、友人だったカナダ人と飲み交わした際、その妬みからか「日本は、経済は凄いいけど、口の中は後進国だね」と言われ、歯科医師になって間もなかった私は、ショックを受けた記憶があります。確かにその頃の日本人の口の中は欧米先進国と比較すると発展途上でした。それから30年以上が経過し、12歳児の虫歯経験歯数や3歳児の虫歯数はいずれも約1/4に激減し、1989年から啓発されてきた8020運動の達成率(80歳で20本以上の歯を有している者の割合)は、当初の約9%から現在は約51%にまで増えました。それでも現在の80歳の歯の保有率は日本の平均が15.3本に対して、スウェーデンでは21.1本、デンタルフロスの普及率は日本の19.4%に対して、米国では60.1%です。いまだ歯への健康意識は発展途上なのです。だからこそ今、国民皆歯科健診が必要なのでしょう。また、この方針推進の根底には、医療費削減という思惑があるようです。歯の残存数が多いほど医療費が少なくなるという大規模な調査結果が報告されており、口腔衛生状態が心臓病など様々な全身疾患に影響することもわかっています。

一方、この過去1/3世紀の間に、社会構造も著しく変化しました。出生率が減少する一方で80歳以上の高齢者は、約3%から約9%に増加し、65歳以上の高齢者が全体人口に占める割合を示す高齢化率は、約12%から約28%に増加しています。現在、日本は世界に類を見ない超高齢社会であり、歯科需要も変化しています。歯を多く有した高齢者が突然寝たきりになり、歯科医の訪問を待っているというような状態が今後加速していくことが予想されます。しかしながら、多くの歯科医師は「訪問診療の重要性はわかっているが、日常に時間的制約があり積極的に行なうのは難しい」というのが実情です。現在行なわれている訪問歯科診療の多くは、十分に構築された歯科医師と患者との間の信頼関係を土台にしたものではありません。多くの国民が、かかりつけの歯科医院を持っていないか、持っても寝たきりになった後は、訪問が専門の歯科医師に依頼しているのが現状です。政府は、地域包括医療の推進のため、かかりつけ歯科機能の強化や医療連携を全国の歯科医師に求めています。いまだ大きな地域差があります。日本には、現在10万人の歯科医がおり、1人が1,000人前後の国民を受け持つ歯科医として信頼関係を構築したうえで、患者個々をよく把握し、歯科疾患の予防を徹底し、たとえ寝たきりになっても管理していくことが、今後の歯科医の大切な使命になると思います。

「国民皆歯科健診」の導入をきっかけとして、サービスを供給する歯科業界も意識や業務体制の改革が必要ですが、それを需要する国民も、元気で豊かな人生のために歯の健康に対する意識を新たにして、歯科を大いに利用していただきたいものです。

## iDi 理事長メッセージ



## 鴨井 久一

Kyuichi Kamoi

歯学博士、医学博士  
iDi 歯科医療情報推進機構 理事長

1979年 日本歯科大学歯周病科教授  
1995年 日本歯科大学付属病院長  
2001年 日本歯科大学大学院長  
2004年 日本歯周病学会理事長  
2005年 日本歯科大学名誉教授  
2006年 ウィーン大学再生医療研究所客員教授  
2010年 カンテプール歯科大学客員教授  
2013年 瑞宝中綬章受賞

## ～歯科医療の軌跡を辿る～

かつての口の治療、処置は「口中医」「口科医」「口歯科医」と呼ばれ、医・歯の区別なく一元制であった。歯科という名称は、1875年(明治8年)に小幡英之助氏が歯科の免許制度を請願。彼は米国流の西洋歯科医術を習得した経緯から、口中科でなく「歯科」の試験を要求し、自ら受験して合格。本邦で最初の歯科医術開業免許を取得した。

そして歯科は、医科とは区別され「歯科」という名称は令和の今日まで延々と続いている。「口腔」という名称はわかりにくいという考え方があったようだが、国民、患者への伝わり方は、歯科医は歯の治療が主体で口内や舌に炎症や疼痛が生じても耳鼻科、内科、外科へ来院する結果となった。口の形態、機能は歯のみでなく解剖学的に舌を含めた咀嚼筋や機能的な唾液腺、リンパ腺などで被覆され、歯を主体に物を噛むことで咽頭や喉頭を介して食道や気道に連鎖し、声帯の関与で、言葉を発声しているなど消化器系、呼吸器系の最初の関門として大きな役割を果たしている。

何故、口の中で歯だけ取り上げられたのか、咀嚼に対して重要な役割を果たしているのは周知の事実であるが、ロイコール歯というイメージが定着し、明治以降の歯科の存在価値が齶蝕と欠損部修復に焦点が当てられていた。体の臓器別に口と脳幹、口と消化器、口と呼吸器など密接な相関関係にありながら、等閑視されてきたことは制度的な制約もさることながら、医療制度に大きな歪をもたらしたものである。

1990年代に米国歯周病学会が歯周病と全身疾患との関連を「歯周医学」という名称で発表し、歯周病細菌が各臓器で同定され、歯周治療の重要性を世界的にエビデンスレベルで報告した。歯周病細菌を除去、減少させること、口腔内清掃、SPTが口腔ケアの第一歩であるとの認識が高まり、齶蝕、歯周病の予防だけでなく、風邪、インフルエンザ予防の効果があることも検査法の発展により解明されてきた。私の著書内でも2000年代の前半に厚労科研究費で唾液を採取し、歯周病原菌をPCR検査で調査した。

歯科界では医科に比べて検査が少ないと言われる。その理由のひとつとして可視化の遅れがあげられるが、数値の評価はクライアントを理解させる重要な役割を果たすものである。厚労省は2022年度の予算枠の中で歯科健康診査推進事業を載上されているが、効率的な検査の推進をお願いするものである。

iDiでは、高齢化社会の口への健康、医科・歯科連携の在り方、インプラントによる咀嚼能力の向上と対策、在宅・施設などの口腔管理などをテーマに今後もさらに邁進する予定ですので、ご参加のほどをよろしく願います次第です。

# 誤嚥性肺炎を予防するための実践講習会 ～あなたは誤嚥性肺炎の予防に自信がありますか？～

6月12日(日)、7月3日(日)の両日にわたり「誤嚥性肺炎を予防するための実践講習会」を開催いたしました。この実践講習会は歯科医師・歯科衛生士を対象としたもので、摂食嚥下機能を理解し、高齢者の口腔機能管理ができるようになるためのセミナーです。高齢者施設の現場で行なう歯科医師と歯科衛生士向けの実践講習ですので、様々な学びと技術の習得ができる貴重な機会となりました。

## DAY 1 事前講習及び相互実習

初日は、御茶ノ水ソラシティにおいて鴨田勇司氏と松尾浩一郎氏による事前講習が行われました。

鴨田氏による「誤嚥性肺炎を予防するための口腔ケア」の講演では、誤嚥性肺炎についての実態や原因の解説にはじまり、摂食嚥下障害についての診断的評価と治療的評価の方法として、臨床観察やRSST、水飲みテストなどスクリーニングテストの方法を詳しく解説。

また、嚥下リハビリテーションとして「アイスマッサージ」「嚥下反射促進主義」「Kポイント刺激」「ガムラビング」などの実践的な行ない方を指導しました。



「アイスマッサージ」や「嚥下おでこ体操」「ペットボトルブローイング」など嚥下リハビリテーションのための様々な基礎(間接)訓練の方法を学びました。



摂食嚥下障害について、「どこが悪いかだけではなく、どうすればよいかの対応を評価」する様々なスクリーニングやテストの方法が詳しく解説されました。



**鴨田 勇司**

歯学博士  
鴨田歯科クリニック院長  
日本老年歯科医学会認定医  
日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士  
聖隷クリストファー大学臨床准教授

松尾氏は「多職種連携で取り組むオーラルマネジメント」と題した講演と、「現場で使える口腔ケアの手技と実践」の参加者同士による相互実習の指導を行ないました。

まずチーム医療におけるオーラルマネジメントの方法としてOHAT(オーハット)の解説と実践が行なわれました。OHATは口腔アセスメントのツールで、口腔内の歯肉や粘膜、舌、残存歯、口内清掃状態などを客観的に数値化し、共通の認識を持つためのものです。このOHATを用いて実際に数値化し、様々な口内状態を把握する練習を行ないました。

また、高齢者への口腔ケアの実践練習として「頬粘膜の圧排」「下顎押し下げ法」などの開口方法や、スポンジブラシと保湿剤を使った口唇と口腔粘膜の保湿、口内を清拭する手技などを参加者同士による相互実習形式で実践しました。



ゼリーを上顎に貼り付け、それを痰や剥離上皮などに見立ててブラシで清拭する手技を、参加者同士による相互実習形式で行ない、高齢者に対する歯科医療現場で役に立つ技術を実践的に学びました。

ORAL HEALTH ASSESSMENT TOOL 日本語版 (OHAT-J)			
項目	評価基準	スコア	説明
口唇	唇の乾燥、ワキガ	0-2	唇の乾燥、ワキガ、口唇の皸裂、口唇の腫脹、口唇の出血、口唇の潰瘍
舌	舌の乾燥、ワキガ	0-2	舌の乾燥、舌のワキガ、舌の厚化、舌の萎縮、舌の出血、舌の潰瘍
歯肉	歯肉の乾燥、ワキガ	0-2	歯肉の乾燥、歯肉のワキガ、歯肉の腫脹、歯肉の出血、歯肉の潰瘍
歯	歯の健康状態	0-4	歯の健康状態、歯の腐蝕、歯の欠損、歯の脱落、歯の浮腫、歯の出血、歯の潰瘍
口腔粘膜	口腔粘膜の状態	0-2	口腔粘膜の状態、口腔粘膜の乾燥、口腔粘膜の腫脹、口腔粘膜の出血、口腔粘膜の潰瘍
唾液	唾液の状態	0-2	唾液の状態、唾液の減少、唾液の増加、唾液の粘性、唾液の臭気
口腔清掃	口腔清掃の状態	0-2	口腔清掃の状態、口腔清掃の回数、口腔清掃の方法、口腔清掃の効果
口腔湿度	口腔湿度の状態	0-2	口腔湿度の状態、口腔湿度の低下、口腔湿度の向上

口内の問題を多職種間で共通言語化し、医科歯科連携をしやすいアセスメントツールの「OHAT」、口唇、舌、歯肉・粘膜、唾液、残存歯、義歯、口腔清掃、歯肉の8項目を健全(0点)から病的(2点)までの3段階で評価し、口腔環境を簡単に数値化できる。OHATはWebからダウンロードして使うことができる。  
<https://www.ohcwtmd.com/research/ohat.html>



**松尾 浩一郎**

東京医科歯科大学  
地域・福祉口腔機能管理学分野 教授  
東京医科歯科大学病院  
オーラルヘルスセンター センター長

# 医科歯科連携の重要性 ～周術期等口腔機能管理を知る～

6月26日(日)、「医科歯科連携の重要性～周術期等口腔機能管理を知る～」と題したセミナーを厚生労働省の後援のもとオンラインで開催いたしました。このセミナーは好評だった昨年に引き続き2回目の開催となりました。

座長をiDi理事の唐澤剛、iDiの新理事となる矢島安朝が務め、厚生労働省や歯科医療界で活躍する7名の講師により、医科歯科連携と周術期等口腔機能管理に対して、現在の動向と大きな変革期を迎えている歯科



医療の最前線から具体的な提言がなされました。

講演以外にも質疑応答やシンポジウムも開催され、積極的な意見交換と問題提起がなされ非常に充実した内容でお届けすることができました。

同セミナーは来年も開催いたしますので、是非多くの方々の参加をお願いいたします。



### 講演 1 歯科保健医療の動向



**小嶺 祐子**

厚生労働省 医政局歯科保健課  
歯科口腔保健推進室長

座長



**唐澤 剛**

iDi理事 / 佐久大学客員教授 /  
元厚生労働省保険局長 /  
元内閣官房地方創生総括官

座長



**矢島 安朝**

松本歯科大学病院 病院長 /  
口腔インプラントセンター・センター長、教授 /  
東京歯科大学名誉教授

### 講演 2 周術期等口腔機能管理における多職種連携の効果



**松尾 浩一郎**

東京医科歯科大学  
地域・福祉口腔機能管理学分野 教授 /  
東京医科歯科大学病院オーラルヘルスセンター  
センター長

### 講演 4-1 周術期等口腔機能管理 -今 医科の必要とする歯科医療-



**山内 智博**

がん・感染症センター  
東京都立駒込病院歯科口腔外科 指定医長

### 講演 3-1 医科歯科連携最前線 -歯科大学病院の立場から-



**野村 武史**

東京歯科大学市川総合病院 歯科・口腔外科部長 /  
口腔腫瘍外科学講座 教授

### 講演 4-2 歯科衛生士に必要な口腔健康管理とその教育システムについて



**池上 由美子**

がん・感染症センター  
東京都立駒込病院看護部 主任歯科衛生士

### 講演 3-2 病院歯科における周術期等口腔機能管理 -東京歯科大学口腔がんセンターの視点から-



**小島 沙織**

東京歯科大学市川総合病院  
コ・デンタル部 歯科衛生士

### 講演 5 周術期等口腔機能管理の効果と周術期管理チームについて



**安本 和正**

昭和大学 名誉教授



# 誤嚥性肺炎を予防するための実践講習会 ～あなたは誤嚥性肺炎の予防に自信がありますか？～

## DAY 2 介護施設にて実践演習



大越氏による嚥下内視鏡のデモ。牛乳やヨーグルト、オレオなどを咀嚼・嚥下する状態も観察し、誤嚥を確認する方法を体感しました。



さくらの里の管理栄養士・近藤さんによる講演。介護施設でどのように食事が摂られているかなど、入所者に対する様々な対応を説明いただきました。



実際の食事時における症例やメニュー別の介助を実践しました。



参加者が嚥下内視鏡を実際に使用し、操作のやり方や咽頭の観察方法を体験。実践的な講習となりました。



食後の口腔ケアも実際に行ないました。



さくらの里の看護師・和田さんによる介護施設の紹介をはじめ、入所者に対する取り組み、病院と施設の看護師の違いなど、現場の生の声を聞くことができました。



2班に分かれてディスカッションや質疑応答、それぞれの体験や感想などが細かく話し合われました。



講習修了後には参加者それぞれに修了証をお渡ししました。



施設入居者の方々に対する「口腔ケア」のデモが行なわれました。



施設入居者の方々に対する食事介助の方法を「症例別」で紹介。

実践講習会2日目は、埼玉県川口市の特別養護老人ホーム「さくらの里」を訪れ、実践的な演習を行ないました。

まず、初日に事前講習を担当した鴨田勇司氏による講義「チーム医療における歯科の関わり」として「摂食嚥下チーム」「栄養サポートチーム(NST)」の解説が行なわれ、「がん治療の口腔有害事象」の実例や「認知症における歯科治療ガイドライン」についても学びました。

また、「歯科医師が行なうミールラウンド」の実践方法を、同施設で訪問歯科治療や口腔ケアを担当する大越良夫氏が解説。

その後、実際に施設に入居されている高齢者の方々に対する「口腔ケア」のデモが症例別に行なわれました。

さらに、食事場をを観察させていただき、食事時の姿勢や1口量、ペース、咀嚼能力、嚥下機能、呼吸や声の状態などに関して、どのように評価を行なうかの方法が大越氏と施設の看護師の方々から説明されました。また実際の食事時における食べさせ方や介助方法なども実践しました。

さらに参加者が相互に行なう嚥下内視鏡を使った演習では、鼻腔ファイバースコープを鼻から喉に挿入していき嚥下の様子を観察。唾液や喀痰、食物の残留の有無を検査し、誤嚥の状態を確認する方法を実際に体験しました。

口腔ケア、リハビリテーション技術、ミールラウンド、嚥下内視鏡の操作など、まさに、誤嚥性肺炎を予防するための「実践的」な講習会となり、参加者にとって非常に有益な体験と技術の習得機会になったことと思います。来年も開催予定ですので、是非ご参加ください。



大越 良夫

歯科医師  
医療法人社団雲会  
松本歯科医院訪問治療部

## 誤嚥性肺炎を予防するための 実践講習会の意義



松本 満茂 iDi専務理事

この誤嚥性肺炎予防の実践講習会は10数年前からやっているもので、特に高齢者施設の現場で行なう歯科医師と歯科衛生士向けの実践的な演習はあまりないため、非常に好評をいただいております。

10数年前、日本に於ける死因の第3位が肺炎となり、その80%以上が誤嚥性肺炎とのデータから、その予防のためには歯科医師と歯科衛生士が施設に向いて口腔ケアを行なうことが重要と考え、この実践講習会をはじめました。

介護保険に経口維持加算という、老人施設で口腔ケアを月に4回行なえば請求できるものが10年前に入りました。これは医師のもと多職種連携で行なうことになっていましたが、3年後の改正で「医師・歯科医師のもと」に変更になり、歯科医師が中心となり施設入所者の口腔機能管理を指導し、食形態の変更まで絡めることになりました。

最初の頃は「誤嚥性肺炎の予防が歯科医師にできるのですか」と言われましたが、現在は歯科医師が関わらないと予防ができないと理解されてきています。また、歯科が関わると誤嚥性肺炎の予防にとどまらず、がんを含めた様々な病気の予防はもちろん、経過や予後がよくなることから、周術期にも歯科が活躍する時代になっています。

また、周術期に関わる方によく理解していただくように、iDiでは医科歯科連携の重要性を理解していただくためのセミナーも昨年からはじめました。是非こちらもお出席ください。オンラインでも受講できます。

受講者の皆さんには、高齢者のオーラルフレイルを食い止め、摂食嚥下機能を維持・向上させるよう、口腔ケアと口腔機能管理ができるリハビリテーション技術を習得し、高齢者の健康寿命の延伸に寄与してください。是非お願いします。今後、各現場で普及していただければ、この講習会が有意義であったこととなります。

2023年も実践講習会、医科歯科連携のセミナーをはじめ様々な講習会を開催する予定ですので、今後ともよろしくお願いたします。

「性格的にはやりたかったんです。ですからそこから数年かけてより技術を磨き、さらに研究を深め、その上で導入しました」  
もともと手先が器用だった同氏は、「コマミミリ」を調整する技術にも自信があった。

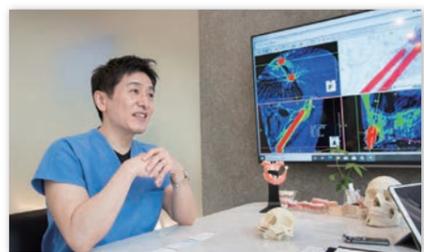


歯科医院にはほとんど導入されていないであろう医療用のX線CTスキャンを備えた手術室。壁の裏に鉛を埋め込むことでCTの設置を実現。CTによる術中撮影が可能となるため患者はサイゴマインプラントなどの難しいオペも安全に受けることができる。

「もちろん、安全を担保するために、様々な機器を導入しています。ナビゲーションシステムやガイデッドサージェリーはもちろん、手術室内の壁の裏に鉛を埋め込み、医療用のX線CTスキャンも設置してあります。CTでの術中撮影によって埋入位置を確認しながらオペを行いますので安心、安全です」



院内に「軽度高気圧濃縮酸素ルーム」も完備。普段の呼吸では得られない「溶存型酸素」を増やすことで、インプラント手術後の治癒力の向上や歯周病菌の殺菌効果など、様々なメリットが期待できる。



サイゴマインプラントなどの難しい最先端治療を数多く成功させてきた越前谷澄典氏。患者の不安を払拭するために、PCやモニタ、模型、説明用ツールなどを使って、わかりやすくカウンセリングを行なうのがモットー。



2021年オープンの「GDHインプラントオフィス札幌」は、札幌駅からも近い地下街や札幌時計台からも近いオフィス街の中心地にある。同院にしかできない最先端の治療を求め、道外からも多くの患者が訪れている。

GDHインプラントオフィス札幌  
ALL-ON-4サイゴマインプラントセンター北海道  
札幌市中央区北2条西2丁目41札幌2・2ビル1F  
011-251-8888 <https://gdh-implant.com/>

「とは言え、はじめてサイゴマインプラントを行なった時は緊張しました。歯科治療はALL-ON-4などの先進治療でも、術野が全部見えていれば簡単です。しかし、サイゴマインプラントは術野が見えない。一步手元を間違えれば眼窩底に達してしまう微妙な世界。手先の感覚が頼りです」  
最初のサイゴマインプラントは本当にこれ以上ないほどのバリエーションな結果だったそうだ。同氏はサイゴマインプラントを行なう際に最も必要なのは「勇気」と語る。しかし、それは蛮勇ではない。高い技術経験、そして確固たる信念に裏打ちされた「自信」があるからこそ持てる精神力なのである。

「自動運転の車ってありますよね。しかし、車を運転する技術がないと自動運転の車でも安全は担保できません。同様にナビゲーションシステムなどの機器も、確かな技術があつてこそ使えると考えています」  
現在、経営する4つの医院には10名以上の歯科医師、30名以上の歯科衛生士が在籍している。同氏は自らが培ってきた技術の継承にも取り組んでいる。

「やはり手先の感覚が重要です。こればかりは言葉で伝えるのが難しい。だからこそ経験を積み重ねていくしかありません。私は手術が趣味ですので、これからの第一線に立ち続けます。ですから、時間はあります(笑)。そして、じっくりと私のオペを見て勉強してもらおう。また、週一回の勉強会では技術以外に歯科医師のマインドも伝えていきます。技術とマインド。歯科医師に不可欠なその両方を自分のものにして欲しいですね」  
同院では「インビザライン」などの矯正や審美治療にも積極的

に取り組んでいる。「すべては患者さんの笑顔のためです。医療法人名のスマイルオフィスデンタルクリニックは笑顔が集う場所という想いを込めています。患者さんもスタッフも、皆が夢と希望を胸に抱き、いつも心からの笑顔で包まれていて欲しいと思っています」  
同院は既に数百本のサイゴマインプラントの実績を誇る。すべての患者さんに笑顔が戻ったのだ。同氏はこれからも挑戦を続け、より多くの方々に笑顔にしていくだろう。Give Dream and Hopesの名のもとに。

### ザイゴマインプラントを行なう道内唯一の最先端歯科医院

iDi認定歯科医師インタビュー  
**常に挑戦し、成長し、貢献し続けるプロフェッショナル**  
医療法人社団 スマイルオフィスデンタルクリニック  
GDHインプラントオフィス札幌  
ALL-ON-4サイゴマインプラントセンター北海道  
理事長・院長  
**越前谷澄典**

「澄ちゃんは凄く手先が器用なんだから歯医者さんになればいいと思うよ」。子どもの頃から祖母にそう言われて育ってきたと語る「スマイルオフィスデンタルクリニック」の越前谷澄典氏。同氏はその祖母の言葉通りに歯科医師となった。そして、その手先の器用さを活かし、高い技術が必要な最先端の治療に挑み続けている。中でも2021年にオープンした「GDHインプラントオフィス札幌」は最先端の医療機器と様々な設備を導入。そして「難しいオペ」を成功させ多くの患者さんに夢と希望を与えている。そう、「GDH」とは「Give Dream and Hopes」の略なのである。



ICOI認定医・指導医  
臨床研修制度指導歯科医  
南カリフォルニア大学歯学部客員研究員  
O.A.M先進インプラント認定医(国際審美学会)  
顎咬合学会かみあわせ認定医  
口腔セカンドオピニオン専門医  
ニューヨーク大学インプラントコース修了  
ハーバード大学インプラントコース修了  
ペンシルバニア大学インプラントコース修了  
JAID常任理事

他の歯科医院で治療不可能と言われた患者さんや、嘔むことをあきらめていた方が、美味しく食事ができ、人前で喋れたり笑えるようになる。  
「私の趣味は難しいオペ。そんな難しいオペだからこそ患者さんに貢献できることも多いのです」と語る越前谷澄典氏。  
そんな同氏の想いが詰まった「GDHインプラントオフィス札幌」は「ALL-ON-4サイゴマインプラントセンター北海道」というダブルネームを持つ。その名の通り「ALL-ON-4」と「サイゴマインプラント」などの最先端治療に特化した医院である。  
「インプラントに関しては20年以上取り組んでいます。現在までに1万本以上は行なっています。近年は年間1千本以上ですね。これは道内ナンバー1の実績だと思います」  
そして、高い技術が要求される「サイゴマインプラント」を行なっているのは道内唯一だ。

「歯周病などで上顎の骨が極度に萎縮して数ミリしかない方の場合、通常のインプラントはできません。そのような方にはサイナスリフトなどの骨造成手術を行なうことからインプラントを埋入します。上部構造が装着できるようになるまで1年以上かかります。しかし、サイゴマインプラントは頬骨に埋めるため、上顎の骨が少ない方でもインプラントが可能です。頬骨は非常に硬くインプラントをしっかり固定できますので、手術を行なった当日に噛めるようになります」  
同氏は歯を失い、夢も希望もなくなつて茫然自失となった患者を何人も診てきた。そんな患者を救いたい、夢と希望を取り戻してあげたいとの想いで腕を磨き、勉強を繰り返し治療にあたってきた。その結果、サイゴマインプラントならより患者に貢献できると考えたのである。

「しかし、私がサイゴマインプラントを導入すると知った他のインプラントメーカーや同業者、大学病院からも非常に多くの電話がかかってきました」  
すべての電話は「サイゴマインプラントなんかやめる」というものだった。サイゴマインプラントは長さ5センチ以上のインプラント体を2本〜4本頬骨に斜めに埋入していく。その角度が1度ずれるだけでも最終的な埋入位置に誤差が生じてしまう。しかも、埋入の深さを間違えると眼窩底を突き破ってしまい失明の危険もある。

「東京で既にサイゴマインプラントを行なっていた友人の歯科医師に相談しても、やってもいいと思うけど友達なくすよ、って言われました」  
当時、サイゴマインプラントは症例も少なく専門の器具もなかった。失明の恐れがあるなど、に取り組んでいる。「すべては患者さんの笑顔のためです。医療法人名のスマイルオフィスデンタルクリニックは笑顔が集う場所という想いを込めています。患者さんもスタッフも、皆が夢と希望を胸に抱き、いつも心からの笑顔で包まれていて欲しいと思っています」

### 技術とマインドを伝えながらこれからの第一線に立ち続ける



2017年のICOI日本支部学術大会では「優秀口演発表者賞」を受賞するなど、伝える技術に定評があり、様々な講演活動や若手育成の「宇田川道場」などで、業界のさらなる発展のため、長年培ってきた技術やノウハウを惜しみなく提供している。



プラットフォーム型の医院として、個室で治療、会計、予約などすべてが完結するゾーニングコンセプトを打ち出した同院。35年前から導入した口腔外パキウムや、人の手が触れるところに貼られた青いパーシアシートなど感染対策を開業当初から徹底している。

iDi認定歯科医師インタビュー  
**様々な革新的アイデアを実現し、その知見を惜しみなく伝える道場主**

医療法人社団スマイルプラス  
 宇田川歯科医院  
 理事長・院長

# 宇田川宏孝

手先がずばぬけて器用だったため、開成高校から北海道大学歯学部に進んだ宇田川宏孝氏。同氏は1987年に「宇田川歯科医院」を開業すると、時代を先取りした感染対策やステップ式の治療方針、院内のゾーニングコンセプトや「N-1会」(日本で一番、歯科から日本を元気にする会)という勉強会を主宰するなど、数多くの革新的な取り組みを行ってきた。現在も若手医師に歯科医師としてのマインドを伝授する「宇田川道場」を主宰する同氏の信念に迫る。



日本口腔インプラント学会 専門医  
 ICOI国際口腔インプラント学会 指導医  
 日本抗加齢医学会 専門医  
 「宇田川道場」主宰  
 スタディグループ「N-1会」最高顧問  
 著書「正しく噛めば 必ず身体が 若返る」(幻冬舎)

## 先進的な数々の取り組みと日本初の「3ゾーンコンセプト」

1987年に東京・墨田区に「宇田川歯科医院」を開設した同氏は、先進的な取り組みを行っていた。

「開業当時から感染対策には注力していました。そのため、ユニットの個室化や患者さんの動線設計も自分で行ないました」

同院では日本ではほとんど例のなかった「口腔外パキウム」を35年前の開業当初から導入。人の手が触れるところはバリアシートを患者さんごとに貼り替えて

「健康産業というのには自分が犠牲にしちゃダメ。自分が健康じゃない人に健康は提供できません」

そして2008年。現在の錦糸町駅前に移転した際に、同氏はさらに動線を進化させた新たなコンセプトを打ち出した。それが日本初となる「3ゾーンコンセプト」である。

これは、「CURE ZONE」と呼ばれる一般治療スペース、

「CARE ZONE」のメンテナンス・予防・ホワイトニングに特化した治療室、そして「NEXT STAGE ZONE」という、最先端の設備と技術、おもてなしの心で治療もケアも行うナースペシャルゾーンから成っている。

「NEXT STAGE ZONEはすべてそこで完結します。治療の最初から部屋に入っていたら、すべての治療を行ない、会計も次回の予約もここで完結します」

この考え方の基本は大きな病院と同様だ。大きな待合室があり、その先は内科や皮膚科、循環器科など各分野に特化した診療

のための個室があり、それぞれの専門医が診療を行なっている。

「ですから、一般の保険診療や審美歯科だけでなく、小児歯科、歯周病、高齢者の口腔ケア、インプラントなどそれぞれの専門医が独立した個室に常駐して、それぞれ最適な機器を備え、ベストな診療・治療を提供するプラットフォーム型を目指しています。NEXT

STAGE ZONEの最終的な形が、専門医の独立した集合体であるプラットフォーム型です」

同院では、各個室をLANで結び、CT画像やカルテなどどの部屋からでも簡単に呼び出せ、様々なインフラやリネンなども共有している。ゆくゆくは「美容整形」や「整体」などの専門個室を設置する可能性もあるそうだ。

## 長年培ってきた経験を伝える「宇田川道場」を主宰

同氏は感染対策やゾーニングなど先進的なアイデアを多数導入してきた。その長年培ってきた信念やノウハウ、技術を伝えるために教育にも余念がない。

「かつてマスメディアなどによる歯科バッシングというものがあ

道場」をスタートさせたのである。

「宇田川道場は、歯科医院の経営ノウハウを教えるのではありません。経営「コンサルタントのように」、経営に特化して伝えることもできますが、それはあくまで「過性」のもの。長く、正しく歯科医院経営を

同院でははじめて診療を受ける際にカウンセリングの後、3ステップで治療が進んでいく。「原因の除去」「機能の回復(虫歯、歯周病の治療)」「再発の予防(メンテナンス、定期検診)」という流れである。

「ブラッシングレッスン、パウダークリーニング、トリートメントは必ず受けていただきます。実は最初は無料で行なっていたのですが、現在は料金をいただいています。人間はお金を払うと、そのための見返りを求めます。有料にすることで真剣に話を聞き、ブラッシングも真面目に取り組んでもらえます。その結果、メンテナンスや定期検診の重要さに気がついてもらえるのです。痛みが治まった、虫歯の治療が終わったとしても、その原因を正さなければ必ず再発しますから、ブラークコントロールを徹底することの大切さを理解していただ

き当院での治療が「一生で最後の治療」になって欲しいと思っています」

様々な知見、アイデア、実行力と本当に患者のためになる治療体制の確立。そして惜しみなくその経験を授けていくという教育への取り組み。

同氏の信念と技術は、これから若き歯科医師に継承され、歯科業界の発展と患者の真の幸せへとつながっていくことだろう。



ゾーニングされた個室が並ぶ診療室。スタッフはアイソレーションガウンなどを着用し、歯科医師、スタッフ、ひいては患者自身の感染を防止し、大きな信頼を獲得している。

えられ、多くの方々に助けられたところで、その恩を若い歯科医師に返したい。そして歯科医師として大きく成長し、これからの歯科医療を担って欲しいとの想いから「宇田川

道場」をスタートさせたのである。

「宇田川道場は、歯科医院の経営ノウハウを教えるのではありません。経営「コンサルタントのように」、経営に特化して伝えることもできますが、それはあくまで「過性」のもの。長く、正しく歯科医院経営を

同院でははじめて診療を受ける際にカウンセリングの後、3ステップで治療が進んでいく。「原因の除去」「機能の回復(虫歯、歯周病の治療)」「再発の予防(メンテナンス、定期検診)」という流れである。

「ブラッシングレッスン、パウダークリーニング、トリートメントは必ず受けていただきます。実は最初は無料で行なっていたのですが、現在は料金をいただいています。人間はお金を払うと、そのための見返りを求めます。有料にすることで真剣に話を聞き、ブラッシングも真面目に取り組んでもらえます。その結果、メンテナンスや定期検診の重要さに気がついてもらえるのです。痛みが治まった、虫歯の治療が終わったとしても、その原因を正さなければ必ず再発しますから、ブラークコントロールを徹底することの大切さを理解していただ

2008年、現在の錦糸町駅前に移転した同院。「患者様一人ひとりにあった最高水準の歯科医療により、歯とお口の健康を通して患者様へ真の幸福を提供する」という理念を、様々なアイデアと独自の設備、確固たる技術で実現している。



医療法人社団スマイルプラス  
 宇田川歯科医院

東京都墨田区太平3-4-8-2F

03-3625-8241 <https://www.udagawa-dental.com>

# iDiセミナーのご案内

## iDi 研修会 在宅療養支援歯科診療に関する総合的研修会 歯科医療安全に関する総合的研修会

**9/11日** 2022 **会場** AP大阪茶屋町 8階 C・Dルーム 〒530-0013 大阪市北区茶屋町1-27 ABC-MART梅田ビル 8F **会場/オンライン開催** 新型コロナウイルス感染症対策のため、本研修会は現地開催、及びオンライン配信のハイブリッドWEB方式で開催します。

<b>講師:高橋 一也</b> 大阪歯科大学 高齢者歯科学講座 教授	<b>講師:丹羽 均</b> 大阪大学大学院歯学研究科口腔科学専攻 高次脳機能学講座 教授	<b>講師:泉福 英信</b> 日本大学 松戸歯学部 感染免疫学講座 教授
①在宅療養支援歯科診療に関する総合的研修会 10:00~12:00 (受付開始 9:30~)	②歯科医療安全に関する総合的研修会 13:00~14:30 (外来環のみ受講 受付開始 12:30~)	③歯科医療安全に関する総合的研修会 14:50~16:20 (歯初診のみ受講 受付開始 14:20~)
12:00~12:10 研修会後に施設基準申請手続きについてiDi事務局から連絡 担当:iDi事務局	16:20~16:30 研修会後に施設基準申請手続きについてiDi事務局から連絡 担当:iDi事務局	

**11/6日** 2022 **会場** 御茶ノ水ソラシティ カンファレンスセンター1階 Room C 〒101-0062 東京都千代田区 神田駿河台 4-6 **会場/オンライン開催** 新型コロナウイルス感染症対策のため、本研修会は現地開催、及びオンライン配信のハイブリッドWEB方式で開催します。

<b>講師:森戸 光彦</b> 鶴見大学 名誉教授	<b>講師:福田 謙一</b> 東京歯科大学 口腔健康科学講座 教授	<b>講師:泉福 英信</b> 日本大学 松戸歯学部 感染免疫学講座 教授
①在宅療養支援歯科診療に関する総合的研修会 10:00~12:00 (受付開始 9:30~)	②歯科医療安全に関する総合的研修会 13:00~14:30 (外来環のみ受講 受付開始 12:30~)	③歯科医療安全に関する総合的研修会 14:50~16:20 (歯初診のみ受講 受付開始 14:30~)
12:00~ 研修会後に施設基準申請手続きについてiDi事務局から連絡	14:30~ 研修会後に施設基準申請手続きについてiDi事務局から連絡	16:20~ 研修会後に施設基準申請手続きについてiDi事務局から連絡

参加費用 (会場/ オンライン共)	歯援診(か強診を含む)		外来環と歯初診	外来環のみ	歯初診のみ
	一般(会員以外)	30,000円	30,000円	20,000円	20,000円
iDi/ISM 認定会員	5,000円	5,000円	3,000円	3,000円	

※災害や講師急病等やむを得ない事情で中止となった場合、参加費の全額返還、もしくは次回開催に振替させていただきます。但し中止によって生じた、旅費、宿泊費や届出の遅れによる逸失利益など、参加者各位の損害については補償できません。ご同意のうえお申し込みください。

## 2022年 iDi歯科学会 持続可能な歯科医療 ~健康長寿と歯科医療~ 参加費 無料

**9/4日** 2022 **会場** AP新橋 A-PLACE新橋駅前4階Dルーム 〒105-0004 東京都港区 新橋1-12-9 **会場/オンライン開催** 新型コロナウイルス感染症対策のため、本研修会は現地開催、及びオンライン配信のハイブリッドWEB方式で開催します。

**特別講演** **歯科保健医療の目指すべき場所** 田口 円裕 東京歯科大学歯科医療政策学教授 前厚生労働省医政局歯科保健課長

<b>講演 1</b> withコロナ時代における歯科の役割 -感染症の予後を分ける口腔ケアの重要性- 今井 健一 日本大学歯学部細菌学講座 教授	<b>講演 2</b> 高齢者・有病者の安全・安心を最優先に考えながら日々の診療を実践するポイント -目前の高血圧、糖尿病などの有病者に対して安全に局所麻酔して安心な治療を提供するために必要なこと- 見崎 徹 日本大学歯学部歯科麻酔学講座 歯科麻酔(みさき)歯科医院 院長
<b>講演 3</b> 社会から求められるインプラント歯科治療 渡邊 文彦 日本歯科大学新潟生命歯学部 名誉教授	<b>講演 4</b> 新型コロナウイルスと戦いか共存か! パンデミック下において求められる歯科医療 泉福 英信 日本大学松戸歯学部感染免疫学講座 教授

参加をご希望の方は、iDi歯科 <https://www.identali.or.jp/>  研修会・歯科学会についてのお問い合わせ **03-5842-5540** お預かりした個人情報、本研修会の運営並びにiDiから参加者への情報提供以外の目的には使用いたしません

On the Cover [今号の表紙写真]  
日本の橋「角島大橋」(山口県)  
山口県北西端の「角島」と同県下関市本土を結ぶ全長1,780mの「角島大橋」。周辺の海底には砕けた貝殻が白い砂となって堆積しているため、澄んだ海水と太陽光がエメラルドグリーンやコバルトブルーのグラデーションをつくりだす。2000年に開通すると、その景観の美しさから多くのドラマやCMのロケ地に採用され、ドライブやサイクリングも楽しめるフォトジェニックな観光スポットとして有名になった。

iDi info 2022夏号  
企画・発行: 特定非営利活動法人 歯科医療情報推進機構  
〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目24-17ネクストビル403  
編集: 庄司信晴 (PAL)・松井英樹 (PAL)  
撮影: 小林伸  
デザイン: 上野はじめ  
Copyright © 2022 iDi All Rights Reserved.  
●本紙掲載記事の無断転載を禁じます。

# iDi 歯科医療情報推進機構とは?

歯科医療の安全の確保と質の向上を目指し、国民の健康と福祉に寄与することを目的として2005年に設立された、**歯科医院を審査・認証する、日本初となる「第三者評価機関」**です。

理念	目的
患者さんから「私にとって、かけがえのない歯医者さん」と呼んでもらえる歯科医院をめざして	<ul style="list-style-type: none"> <li>●評価基準に基づき第三者機関として歯科医院の機能評価を公正に行なう。</li> <li>●機能評価において一定の水準を満たしていると評価・認定された歯科医院を「患者さんに選ばれる歯科医院」として情報発信する。</li> <li>●安心・安全で適切な歯科医療情報を広く国民に提供する。</li> <li>●歯科医院は、第三者に評価されることによって機能や診療、患者サービスの質を客観的に把握でき、従業員の自覚と意欲のさらなる向上を図ってもらう。</li> </ul>

**iDi認証マーク**



**ISM(インプラントセーフティマーク)**



「iDi認証マーク」は、安心・安全な歯科医療機関として広く国民に訴求するための標準です。

「インプラントセーフティマーク」は、安心・安全なインプラント治療を受けられる歯科医療機関として広く国民に訴求するための標準です。

法人概要 **iDi Institute of Dental Information** 特定非営利活動法人 **歯科医療情報推進機構** <https://www.identali.or.jp>  
〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目24-17ネクストビル403 TEL 03-5842-5540 FAX 03-5842-5541  
理事長 鴨井久一 日本歯科大学名誉教授 設立:2005年3月10日

## 「在宅療養支援歯科診療に関する総合的研修会」 「歯科医療安全に関する総合的研修会」を開催しました。

2022年5月15日(日)、東京・御茶ノ水ソラシティにおきましてiDi研修会を現地とオンライン配信のハイブリッドで開催。数多くの現地受講と共にオンラインで多数の方々にも閲覧いただきました。同講習会は大阪で2022年9月11日(日)、東京で11月6日(日)にも開催予定です。是非、ご参加ください。

 【歯援診・か強診】 「高齢者の心身の特性」「口腔機能の管理」「緊急時対応」「歯科疾患の重症化予防に資する継続管理」 講師:高橋 一也 大阪歯科大学高齢者歯科学講座 教授	 【外来環】 「偶発症に対する緊急時の対応」「医療事故に対する対策・対応」 講師:福田 謙一 東京歯科大学口腔健康科学講座 教授	 【歯初診】 「新型コロナウイルス感染症と歯科医療における院内感染対策」 講師:泉福 英信 日本大学松戸歯学部感染免疫学講座 教授
--	---	--

# ジーシー昭和薬品は 歯科用局所麻酔薬に関する情報を 提供しています。

## ORA DENTAL TOPICS

- No.28** 亜酸化窒素(笑気)吸入鎮静法  
北海道大学大学院歯学研究院 口腔病態学分野 歯科麻酔学教室 教授 藤澤 俊明先生
- No.27** 循環系合併症を有する患者の歯科治療  
徳島大学大学院 医歯薬学研究所 歯科麻酔科学分野 教授 北畑 洋先生
- No.26** 小児患者の緊急対応  
日本大学 松戸歯学部 歯科麻酔学講座 准教授 山口 秀紀先生
- No.25** 伝達麻酔なんて怖くない!  
日本歯科大学生命歯学部 歯科麻酔学講座 教授 砂田 勝久先生
- No.24** 世界の歯科局所麻酔事情  
東京歯科大学 歯科麻酔学講座 教授 一戸 達也先生
- No.23** アドレナリン含有リドカイン塩酸塩製剤の併用注意薬を服用する患者への対処  
松本歯科大学 歯科麻酔学講座 教授 澁谷 徹先生
- No.22** 抗血栓薬服薬患者の歯科診療室における知的局所麻酔管理  
北海道医療大学歯学部 生体機能・病態学系 歯科麻酔科学分野 工藤 勝先生 大桶 華子先生 三浦 美英先生
- No.21** 局所麻酔に起因するトラブルの対処法  
東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 麻酔・生体管理学分野 教授 深山 治久先生
- No.20** 歯科治療時の疼痛管理と術後鎮痛  
日本歯科大学 新潟生命歯学部 歯科麻酔学講座 教授 佐野 公人先生
- No.19** 糖尿病と歯科治療  
埼玉医科大学 医学部 臨床医学部 門門麻酔科 教授 長坂 浩先生
- No.18** 呼吸器疾患を有する患者への対応  
福岡歯科大学 診断・全身管理学講座 麻酔管理学分野 教授 谷口 省吾先生
- No.17** 高齢者に対する歯科用局所麻酔剤の注意点  
神奈川歯科大学 生体管理医学講座 麻酔科学 教授 吉田 和市長 准教授 有坂 博史先生
- No.16** 妊婦・授乳婦への歯科局所麻酔薬投与について  
愛知学院大学 歯学部 麻酔学講座 金澤 真悠子先生 原田 純先生
- No.15** 局所麻酔の合併症～びらんと潰瘍  
鶴見大学 歯学部 歯科麻酔学教室 深山 治久先生

- No.14** 「私は麻酔の注射でアレルギーが出たことがあります…」と、患者が言った。さあ、どうしよう。  
東京歯科大学 歯科麻酔学講座 一戸 達也先生
  - No.13** 歯科用リドカインカートリッジに含まれる添加剤について  
神奈川歯科大学 麻酔学教室 教授 吉田 和市長 講師 有坂 博史先生
  - No.12** 合併症を有する患者への対応part.2  
日本大学 松戸歯学部 歯科麻酔学教室 教授 澁谷 徹先生
  - No.11** 合併症を有する患者への対応part.1  
日本大学 松戸歯学部 歯科麻酔学教室 教授 澁谷 徹先生
  - No.10** 患者急変時何をすべきか、歯科診療室における初期救急!  
日本歯科大学 新潟歯学部 歯科麻酔学講座 教授 附属病院 歯科麻酔科長 附属病院 障害者歯科センター長 佐野 公人先生
  - No.09** 小児歯科医療現場での危機管理  
松本子ども歯科クリニック 院長(福岡県前原市) 九州大学歯学部 臨床助教授 松本 敏秀先生
  - No.08** 小児に対する歯科局所麻酔について考える  
日本大学 歯学部 歯科麻酔学教室 見崎 徹先生
  - No.07** さらに安全な局所麻酔薬を求めて  
日本大学 松戸歯学部 歯科麻酔学教室 教授 澁谷 徹先生
  - No.06** 痛くない局所麻酔  
日本歯科大学 歯学部 歯科麻酔学講座 助教授 附属病院 多目的診療科長 高橋 誠治先生
  - No.05** 局所麻酔による全身的偶発症～その予防と処置  
東京女子医科大学 歯科口腔外科 扇内 秀樹先生
  - No.04** 局所麻酔による全身的偶発症  
保土ヶ谷歯科医師会 伊藤 洋一先生 金子 守男先生
  - No.03** 見直される局所麻酔と将来展望  
日本歯科大学 歯学部 歯科麻酔学教室 高橋 誠治先生
  - No.02** 臨床に役立つ局所麻酔の話  
鶴見大学 歯学部 歯科麻酔学教室 野口 いつみ先生
  - No.01** 保存治療における注射部位とオーラ注の使用について  
日本大学 歯学部 保存学教室 歯内療法学講座 齋藤 毅先生 塩野 真先生
- 拔牙のための局所麻酔法**  
昭和大学 歯学部 第一口腔外科学教室 道 健一先生 松井 義郎先生



資料請求先  
**株式会社 ジーシー昭和薬品**  
TEL:0120-648-914  
(受付時間)9:00~17:30(土・日・祝日・弊社休日を除く)  
ODTA41C-22NCP01  
2022年4月作成

### 歯科用局所麻酔剤

劇薬、処方箋医薬品(注意—医師等の処方箋により使用すること)

## オーラ®注歯科用カートリッジ 1.0mL・1.8mL

リドカイン塩酸塩・アドレナリン酒石酸水素塩注射剤

薬価基準収載



効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については電子化された添付文書をご参照ください。



製造販売元  
**株式会社 ジーシー昭和薬品**  
東京都板橋区蓮沼町76番1号  
ORAA41C-22NCP01  
2022年4月作成



医療・介護従事者の方はもちろん、  
一般の方にも安心してご使用して頂けます。

## 抗菌・抗ウイルスマスク「アスガルド」



4層タイプ  
ふつらサイズ  
3枚入 価格:495円(税込み) 1箱30枚入りも 近日発売予定



## 厳しい品質基準を満たした日本製の安心安全なマスクです

### 日本産業規格 JIS T 9001

試験項目	医療用マスククラスⅢ	合否判定	試験項目	医療用マスククラスⅢ	合否判定
微小粒子捕集効率 (PFE)	≥98%	○	人工血液バリア性	21.3kPa	○
バクテリア飛沫捕集効率 (BFE)	≥98%	○	可燃性	区分1	○
ウイルス飛沫捕集効率 (VFE)	≥98%	○	遊離ホルムアルデヒド	≤75 μg/g	○
圧力損失	<60 Pa/cm <sup>2</sup>	○	特定アゾ色素	≤30 μg/g	○

医療機関：一般財団法人カケンテストセンター 大阪事業所

### ●抗ウイルスのメカニズムイメージ●



- ・短時間でウイルスを低減(2分間で99.99%以上低減)
- ・広領域で抗ウイルス作用あり(有機物低濃度～高濃度)
- ・抗菌作用あり
- ・業界初、厚さ50nmの純銀膜不織布



ASGARD® 公式ホームページ

ASGARD®マスクについてのお問い合わせは  
リサイクルと環境保全  
相田化学工業株式会社 **DAC** IME事業部